

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.159

2013/02/15

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

積雪期・枯死木伐採・枝打ち



日の出前の伊吹山～金糞岳のスカイライン(13/01/31 6:50)



展望台に落枝があり危険なためチルホールを使って伐採作業

積雪期に入って作業は、枯死木（主にアカマツ）の伐採整理とヒノキ林の枝打ちを行っています。



枯死アカマツの伐採整理(13/02/05)



昨夏は「山門水源の森」に限らず、近年では希な松枯れが進みました。観察コース沿いで危険なものについては、随時伐採をしてきました。積雪の中の枯葉の着いたアカマツが多いのは異様でもあり連日伐採整理に追われています。コース沿いの枝打ちがされていないヒノキも着雪すると、「早く枝打ちを・・・」と悲鳴を上げているようでこれ又連日作業を続けかなりスッキリとした檜林になってきました。

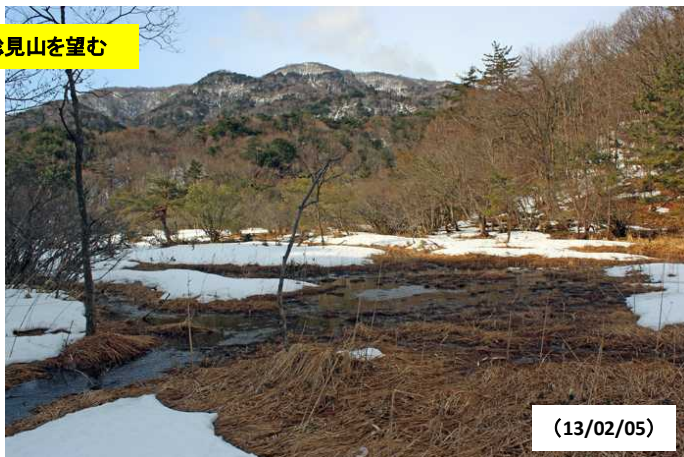


コース沿いのヒノキの枝打ち(13/02/01) PHOTO BY FUJISAWA



北部湿原から総見山を望む

(13/01/27)



(13/02/05)

今冬はこれまでのところ積雪量は例年の半分程度です。例年最多積雪量となる2月上旬に上の右の状態です。このまま春になるのは琵琶湖の水質にとっては好ましくないなあと考えていた矢先に下の右状態となり、あ



このまま春に？(中央湿原) (13/02/07)



一転冬に...(中央湿原) (13/02/09)

る意味ホッするところです。今冬は12月の本紙でも書きました「日の出前の森の観察」を何回も実施しています。雪明かりのみで観る湿原・月明かりの森・薄明の森・日の出の森などこれまで抱いていた森の姿とは一味違う森を体感できます。この時間帯の観察にひときわ力を入れている森林キーパーもいます。積雪期は大変ですが、今年は年間を通じて何回か続けて観察したいと思います。



ヘッドライト

ネックライト

ポールは滑落防止・
防御兼用です

こんなスタイルで登ります

新雪が降り止んだ直後は、樹木への着雪から樹種の違いが観察できるベストチャンスです。下の画像は、天然更新試験地から守護岩方面を眺望したものです。画像が小さいので鮮明さを欠きますが、着雪状態が場所によって異なることはわかります。①アカガシ・②ブナ・③ヒノキ・④コナラ・⑤アカマツ・⑥コハウチワカエデ



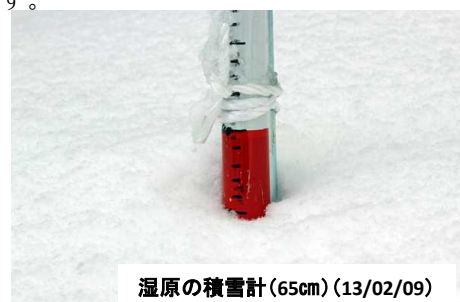
残月のブナの森(13/01/31 6:39)



総見山

守護岩

天然更新試験地からの眺望(13/02/09)



湿原の積雪計(65cm) (13/02/09)